

はさみ

議会だより

No.128

平成26年12月号



登るときは力いっぱい
下るときは怖かったよ！

平成27年度から新たな子ども・子育て支援制度スタート (写真提供:学童保育E・Tクラブ)

- 9月定例会 平成25年度決算を認定ほか…………… P2~4
- 決算特別委員会質疑のあらまし…………… P5~7
- 一般質問 町政を問う…………… P8~11

平成26年9月定例会

9月定例会は、9月24日から10月8日までの15日間の会期で開かれ、請願書の採択1件、新たな条例制定と条例の一部改正、平成26年度各会計の補正予算など15議案、諮問2件、発議1件について原案通り可決した。また、平成25年度一般会計、特別会計、企業会計の決算は、25日、26日に決算特別委員会で集中審議した。一般質問では、7議員が16項目について町長の考えを問うた。

平成25年度決算を認定

“経済・雇用対策など諸事業の取り組みと健全な財政運営”

《会計別決算状況》

区 分	収 入 額	支 出 額	翌年度繰越財源	差引残額	
一 般 会 計	60億9137万円	59億1829万円	8964万円	8344万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業	18億 589万円	17億7280万円	-	3309万円
	後期高齢者 医療保険事業	1億3618万円	1億3553万円	-	65万円
	介護保険事業	11億2276万円	11億 634万円	-	1642万円
	公共下水道事業	4億1629万円	4億1057万円	350万円	222万円
	町営工業団地整備事業	351万円	335万円	-	16万円
合 計	95億7600万円	93億4688万円	9314万円	1億3598万円	
上水道事業 (資本的収支額)	3814万円	1億6049万円	-	△1億2235万円	
(収益的収支額)	2億6120万円	2億4998万円	-	1122万円	
工業用水道事業 (資本的収支額)	1億5800万円	1億5053万円	-	747万円	
(収益的収支額)	1641万円	605万円	-	1036万円	

注)上水道事業の不足額1億2,235万円は、過年度分留保資金及び積立金を充当

《地方債（借入金）の残高状況》

借入金の名称	24年度末残高	25年度借入額	25年度償還額	25年度末残高
一般単独事業債など	64億4008万円	5億7210万円	6億542万円	64億676万円

《主な基金の状況》

基金名	25年度末の現在高	基金の内容
財政調整基金	5億8224万円	計画的な財政運営を行うための基金
土地開発基金	1億6897万円	公共用に供する土地を取得するための基金
教育施設整備基金	1億6916万円	学校、社会教育施設の整備に充てる基金
減債基金	2億3229万円	地方債の返済を計画的に行うための基金
ふるさと創生基金	1億9854万円	地域づくり事業を行うための基金
地域福祉基金	1億1036万円	高齢者等の保健福祉の増進を図るための事業基金
下水道事業基金	7億6202万円	下水道事業を円滑に執行するための基金
役場庁舎建設基金	3億2010万円	役場庁舎の建て替えを行うための基金
地域活性化基盤整備基金	1億8500万円	道路整備など普通建設事業を円滑に執行するための基金
その他コミュニティ活動支援事業など11基金	2億1634万円	児童文化、人づくり・まちづくり、地域振興、河川環境整備事業などの11基金がある。
合計	29億4502万円	

【教育委員会委員の任命】

野々川郷の岳村さゆりさんを引き続き任命する人事案に同意しました。
任期は、平成26年10月7日から30年10月6日までの4年間。



岳村さゆり氏

【人権擁護委員候補者の推薦】

金屋郷の橋本弘子さんを引き続き候補者に推薦すること、
新たに山田郷の小柳洋子さんを推薦することに決定しました。
任期は、平成27年1月1日から30年12月31日までの
3年間。



橋本弘子氏



小柳洋子氏

【発議第1号】

○手話言語法の制定を求める意見書（要旨）

国連の障害者権利条約には「手話は言語である」と明記されているが、日本のろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使う事が差別されてきた長い歴史がある。よって、聴覚障害を持つ子供たち・ろうあ者のために、手話が学べる教育環境整備の早期実現のため、「手話言語法の制定」を求めるもの。

（意見書の提出先） 内閣総理大臣宛て

《平成26年度補正予算の概要》

一般会計の補正は、収入では地方交付税の交付決定による増額、支出では旧公会堂の耐震補強・修復工事設計委託料をはじめ、水痘・高齢者肺炎球菌ワクチン接種委託料、西九州自動車道跨道橋点検業務委託料、南小中学校舎改修工事費、鴻ノ巣グラウンド改良工事費、体育センター屋根塗装・補修工事費などが主な内容となっている。

区 分	補 正 額	補正後の総額	備 考	
一般会計（第2号）	1億2500万円	56億7200万円		
特別会計	国民健康保険事業（第1号）	63万円	18億 63万円	高額医療費の増額など
	後期高齢者医療事業（第1号）	63万円	1億4543万円	予備費の増額など
	介護保険事業（第2号）	1279万円	12億2386万円	介護サービス給付費の増額
	公共下水道事業（第1号）	△6027万円	3億7523万円	汚水管布設工事費の減額など
上水道事業会計（第1号） （収益的収支額）	（収入）10万円 （支出）33万円	（支出総額） 2億5934万円	人事異動による人件費の増額	

【子ども・子育て支援の充実／3条例を新規制定】

●「波佐見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」
これまで個別に行われていた支援から、幼児期の特定教育・保育に関して総合的な給付制度を創設するもの。なお、基準等は国が示した基準を踏まえて、町が条例で定めることとなった。（保育料等の決定は、住民税額に一本化されるなど）

●「波佐見町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」
待機児童の解消のため、創設するもの。現行無認可事業として実施されている家庭的保育事業 などは、申請により町が認定し、「地域型保育給付」が行われる。



白倉保育園

●「波佐見町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」
放課後児童クラブの質を確保するため、町が実施主体となり、設備や運営の基準等を定めるもの。これまでの概ね10歳未満の児童から「小学校就学児童」全体へ対象者が拡大される。

※本町は、いずれの条例も「国の基準に従う」方針で制定されている。なお、新制度への移行等は事業者の申請により実施されるため、当分の間は現行のまま維持される。

【企業誘致で競争力強化のために条例を改正】

●「波佐見町企業立地促進条例の一部を改正する条例」

波佐見町営工業団地などへの企業立地を促進するため、条例の一部を改正するもの。特に近隣市町の工業団地との誘致競争をより有利にし、立地促進につなげるため、用地取得奨励金を設けたり、交渉等を迅速に行えるよう改正された。なお、詳細な事項は規則に委ねられた。

賛成討論

松添一 議員

現在、企業誘致は全国の市町村で進められている状況の中で、波佐見町でも全国の企業を訪問し誘致活動をされている。しかし、誘致は難しい状況にある。一刻でも早く企業誘致を進めるためには、現場の職員にもある程度の権限を持たせ、企業の要望にもすぐその場で対応ができるよう、現場で使い易い条例にしたほうが良いと思ひ賛成する。

反対討論

松尾道代 議員

この条例の改正を可決すると、条例は抽象的な範囲にとどまり、あとは執行部の制定する「規則に委任」となる。結果、議会での審議は回避され町長サイドで全てが進んでいく。町民と力を合わせてと言うなら議会に全てを報告し真剣に討論すべきで、これは議会制民主主義における町長と議員の義務である。企業誘致は双方の信頼で成立するもの。企業との協議の中で職員に交渉力を持たせることは町長と同じ考えであるが、議会の審議を回避する議案には反対する。

第4回臨時会は、10月23日 1日間の会期で開会され、工事請負契約の締結2件の議案が上程され、可決された。

◆鴻ノ巣公園グランド改良工事請負契約の締結について

(工 事 概 要)	暗渠排水・舗装・防球ネット工事など
(契 約 額)	79,012,260円
(契 約 者)	㈱小佐々建設 代表取締役 小佐々 春城

◆南小学校校舎改修工事請負変更契約の締結について

(主な変更内容)	防水工事、内部天井・壁面など改修工事の追加
(変更前の契約額)	131,668,200円
(増 加 額)	6,293,160円
(変更後の契約額)	137,961,360円
(契 約 者)	小佐々建設・田嶋工務店建設工事共同企業体

代表者 ㈱小佐々建設 代表取締役 小佐々 春城



改修の終了した南小学校

〈総合的なこと〉

- Q 地方交付税と交付金、町税の収入が増加した。
- A 3億5400万が基金に積み立てられている。もう少し使い方を考えるべきではないのか。
- Q 交付税の確定が3月になり、確実なところで歳入見積もりをしている。基金の積み方は、議会から指摘があったことも考えながら、是正をしていきたい。
- Q 町税の不納決算額が25年度はかなり多いが、その件数は。
- A 町民税が26件(法人9件、個人17件)。固定資産税は平成19年度からの即時消滅分が38件、時効消滅分が46件。軽自動車税は、26名(81台分)。
- Q 不動産売却収入はどの程度のものか。
- A 主に東小学校付近の県道拡幅による用地買収で、他2件の分である。
- Q ふるさと納税のPRが必要だが、今後の取組は。
- A 寄附金を頂いた方に農産加工品などの詰め合わせを送っている。今後、若い職員で検討しようと考えている。
- Q 議員研修費が17万6000円とあまりにも少ないと思われるが。
- A 別枠の研修旅費もあり、実際は相当数の人数が研修を受けている。今後中央研
- Q 乗合いタクシーは、稼働率が高いにもかかわらず、自治会などの事情調査が必要ではないか。
- A 稼働率が低いからと、検討にはあたらないが、今後は改善すべきところは改善し、利用促進を図りながら稼働率の向上を考えていく。
- Q 個人情報の漏洩については万全なのか。トラブルはなかったのか。
- A 情報の漏洩については、業者に業務委託して万全を期している。これまで、情報漏洩の事件はない。

決算特別委員会質疑のあらまし

となっている。

修・専門研修・その他の階層研修を含め、可能な限り研修をしていく。

決算特別委員会質疑のあらまし

Q DV防止サポートシステムへの登録の方法は、未然に被害を防げたことがあったのか。

A DVの被害者または、受ける可能性がある方の申し出によって登録する。このシステムが稼働した事例はない。

Q 住宅の借上げ手数料の内容。
A 25・26年度の2カ年で県との職員交流を行っている。税務課に1名県からの派遣職員がいる。その分にかかる手数料である。

〈民生費・衛生費・労働費〉

Q ニコニコ入浴券の発行枚数とその成果は。また、今後の利用者増大をどう考えているか。



ゴミステーション

A 利用率があまり変わらないう。利用されている方の固定化がみえるが、若者に対しても、また高齢者の福祉対策の面からも利用範囲を検討したい。

Q ゴミのリサイクル化における分別の細分化は。また循環型社会を目指す意味でも協議検討はできないか。
A ゴミの分別については再生エネルギーのこともあり進めていく。また、住民の意識向上も図りたい。

Q 予防接種時の事故対策に對して、救済給付費はどうなっているのか。事故が発生する予防接種が難しくなるのでは。

A 国が定めた予防接種による事故が生じた場合、国からの補助金が出ている。予防接種をする度に、事故ということが出てくるが、かえって病気が蔓延することになるので、「予防接種は受けてください」のスタンスでいきたい。

Q 子育て支援センターの改修工事の内容および購入された備品は何か。

A 内装工事・建具工事・収納庫の整備・給排水工事・電気工事など。備品は、小さな滑り台や子供用のイスなどである。



子育て支援センター「きしゃぼっぽ」

Q 町内一斉の清掃時における土砂の捨て場所の計画、検討はされているのか。

A 旧金山跡地の町有地を一時的な土砂捨て場所として対応している。

Q フッ化物洗口の推進は。26年度はフッ化物の有効性などを知っていただき、27年度から実施できればと思っています。

Q 浄化槽設置整備補助金の減少した理由は。24年度が46基、25年度が31基。比較して15基減っています。

A 24年度が46基、25年度が31基。比較して15基減っています。

いる。浄化槽の普及が進んだことが考えられる。

〈農林業費〉

Q 中山間地交付金事業の次期継続は。また、農地・水保全交付金の取組地区の復旧は進んでいるのか。

A 農地維持のため、国策で維持されるのとことであり、十分活用したい。また農地・水は1地区が復旧。今後も復旧の協議を進めたい。

Q アスパラハウスの建設費等が高止まりだ。農家の負担軽減の研究をしているのか。

A 24年度は業者の手持ちもあり、25年度よりも入札額が低かった。今後協議し、認定農業者の負担軽減を模索したい。

Q イノシシ捕獲対策で、部分的に被害が集中しているが、重点的な対応が必要ではないか。

A ワイヤーマッシュの効果は出ている。集中した捕獲は、猟友会等の協議会の場で提案してみたい。

Q 畜産費の大部分は獣医師の人員費。仔牛や肥料高騰で苦しんでおられる畜産農家に補助できなかったのか。
A 250万円の補助のうち、ほとんどが獣医師の人員費相当で、これまでも長年支援をしている。

〈商工費〉

Q 陶器まつりの大型バス駐車場借り上げ料は、24年度からすると非常に少ないのはなぜか。
A 大型バス駐車場は、2筆4人の地権者の方がおられ相談した結果、低くおさえられた。

Q 波佐見焼振興会には、運営補助金、産地振興補助金が交付されている。支出で波佐見焼PR事業費が不足

するのであれば、その2つの事業も精査し、増額が必要ではないか。
A 今後は、事業の見直し等を含め振興会と研究しながら検討を進めたい。

Q 報償費の20万円の予算に対して、10万円の不用額となっているのはなぜか。めし碗グランプリ支援事業との関連か。
A 中島誠之助先生の2回の講演料で、地元1回、都市部1回と計画していたが、先生の都合で1回となった。

Q 岩崎インター駐車場の利用状況調査がある。その結果、将来的にどうされるか。
A 岩崎インター駐車場有料化の調査であるが、現状としては判断できず、さらに詰めていきたい。

〈土木費〉

Q 西ノ原土地地区画整理事業の今後の見通しは。

A 27年度は、大幅な予算要求をすることで現在、国に要望を出している。

Q 協和団地の駐車場整備工事の内容は。
A 補助事業により、102台分の駐車場の区画を整備し、86台分貸出し、26年度から1台2千円徴収している。



協和団地駐車場

Q 河川敷の除草作業の一体的な管理を考える時期ではないか。
A 一元的な見直しをする時期との意見もある。ボランティア団体の意見も聞きながら考えていく。

〈消防費〉

Q 特殊無線技師養成講習受給料は何のために必要なのか。
A 本町が設置している防災行政無線の整備において無線の資格が必要ということから、25年度に2名受講している。

Q 波佐見町奨学資金の新規貸付が3年ないのは貸付条件や、査定が厳しいのではないのか。
A 町の奨学金制度は、大学生が月2万円、高校生が1万円となっている。これに対し、国・県の制度は大学生が4万1000円。高校生が1万8000円から2万3000円と制度的に良いことから、町の制度の利用がないのかと思う。

Q 中学校体育館のバドミントンの支柱受口清掃手数料が支払われているが、どのようなことか。

A 最近、フルに活用されていなかったため、清掃を基礎の部分から深く行い、金具口の清掃も行った。

Q 寄贈頂いた三上次男先生の收藏品と、藤田コレクションは、今後、どのように保存し、維持していくのか。
A 收藏品は金庫などに入れ、しっかり保管・管理して行き、陶芸の館に一部展示する。



展示された三上コレクション

◎旧公会堂の整備費用は ◎将来の「小中一貫校」への考えは



太田 一彦 議員

問 旧公会堂の整備費用はどの位かかるのか。

町長 修復工事が約1億3000万円、耐震工事が約6000万円、別途、工事管理費として約1000万円、トイレ設置工事は約1500万円、全体事業費としては、2億1500万円程度と見込まれる。

問 整備後、住民が利用できるのはいつからか。

町長 平成28年度予算に耐震補強修復工事を計上し、おおむね2年で完修を行い、30年3月の完了を目指したい。

問 改修について文化庁との協議は行われたのか。

町長 まだ行っていないが、国登録有形文化財の位置や形などを変える際により、文化財保護法の規定により、変更しようとする日の30日前までに文化庁に届け出を行う必要がある。

問 小・中学校のいじめの問題や不登校の現状はどうか。

教育次長 いじめについては、深刻な問題は発生していない。不登校については、小学生は一人、中学生は七、八人の生徒が不登校の状況にある。

問 今後、人口減少が予想され、当然、子供たちの減少も進んでくる。近い将来、教育行政のあり方として小中一貫校を視野に入れて計画を立てるべきではないか。

教育次長 本町の教育施設立地環境から判断して、小中一貫教育の理想の環境に整えるには学校間が広範囲にわたっており、一貫教育の利点を生かした教育実践を行うには厳しい状況にある。

また、小学校教育は可能な限り生活圏に近いところで子供たちの教育を行うことが最善である。

現段階においては現行制度を推移させ、一層の小・中学校間の交流を図りながら、各々の学校が特色を生かした教育で効果を上げることが大事である。

第3回(9月)定例会 賛否表

○賛成 ●反対

議案番号	議案	議決の結果	表決数 賛成:反対	議席番号												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
40~45	平成26年度一般会計補正予算(第2号)及び特別会計補正予算など(5件)	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	彦佐見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	彦佐見町東部保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	彦佐見町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	彦佐見町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	彦佐見町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	彦佐見町企業立地促進条例の一部を改正する条例	原案可決	12:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	彦佐見町学校設置条例の一部を改正する条例	原案可決	12:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53~60	平成25年度彦佐見町一般会計及び特別会計・企業会計などの歳入歳出決算認定(7件)	認定	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	手話言語法の制定を求める意見書	原案可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



◎窯業の人材育成の具体策は ◎旧公会堂の保存・利活用は

百武 辰美 議員

問 地場産業である窯業の技術の伝承、後継者育成を含め、人材育成についての施策を講じる必要があるが、今後の具体的な考えは。

町長 新商品開発の支援を行い、産地PRなど、波佐見焼ブランドの確立により、需要と販路の拡大を図る。

さらに個々の技術力向上の支援が窯業関連事業者への増収へとつながって継者育成へとつながっていくものと思う。

産業の技術が途絶える、その再興にはかなりの時間と労力が必要である。

最悪の場合、再興すらできないことも考えられることから、人材の育成、技術の伝承について官民一体となり、積極的な取り組みを検討していきたい。

問 旧公会堂の修復については、今後の利活用にできるだけ対応できるように

うな設計が望ましいと考えるが、設計に対して基本的な考え方は、また、土地地区西整理事業との関連性は、

町長 保存活用委員会からの多目的ホールとしての活用が好ましいとの答申を尊重する方向で修復整備したい。

旧公会堂の機能及び景観は可能な限り残しながら、耐震性のある建物として修復していく。

利活用にあたっては管理者を設定する必要があり、事務所スペースの設置等についても協議しながら進めていく。

また、周辺にある登録有形文化財などと併せ、観光資源としての位置づけを進めたい。

このことから、西ノ原土地地区画整理事業では、換地計画を見直しで、実施計画の変更手続を進めているところである。

◎やきものの作り手支援は ◎6次産業係の新設を ◎どうなる、西ノ原地区下水道事業

藤川 法男 議員

問 「ながさき陶磁展」の終了により「作り手の意識の後退」が危惧される。産業の育成としての本町の取り組みはどうか。

町長 近年は、応募数も半分以下になり、他にも類似する公募展が多数存在し、「作り手の意識の後退」にはつながらない。

また、本町独自の取り組みとして、「めし碗グランプリ」開催事業など支援している。

問 公募展「めし碗グランプリ」は、来年10回目を迎えるがどう支援するのか。

町長 本町は、企業誘致係を設けているように、農林課にも「6次産業係」を設置し、中山開地の活性化を図るべきと考えるかどうか。

町長 6次産業化を推進する体制は、4月から農政係を再編し、産業化へ着手したばかりである。今年度、波佐見ブランドの特産品づくりを進め、地域おこし協

力をなどと連携し、協議を進めている。

問 町長は、所信表明の中で「不易流の負担を伴うものは大胆に見直す」とある。その中で下水道事業はどのようにするのか。

副町長 公共下水道事業には多額の経費がかかる。将来的負担がかからないよう見直しを図っていく。

町長 下水道事業以外でも公共事業の中で、いったん決定した事業も成果が出ない事業は、一定時期がきたら大胆に見直していきたい。

問 平成26年度以降、下水道事業の見直しをする、折敷瀬郷、宿郷、湯無田郷以外の周りは、合併浄化槽となる。

最後まで残るのは「西ノ原地区」となり、大手中心地が一番不便となるかどうか措置を考えたか。

水道課長 西ノ原地区については、すでに事業認可を受けており、継続的に事業を実施していく計画である。

◎西九州自動車道
利用料金の引き下げは
◎野球場建設の取り組みは



今井 泰照 議員

建設課長 現在のところ開設もないということ国が直轄的に行った事業というところで無料化されていると思う。松浦から佐々区間をつなぐまでは無料だと考

問 以前、会議の中で、「九州自動車道の波佐見有田インターからの利用料金が高い」という声を届けてもらいたいと要望したが、どうだったのか。
町長 西九州自動車道建設促進期成会の活動の一環として、平成二十年十二月に料金所の一元化と利用料金引き下げの要請を国・県及び（株）西日本高速道路に対して行っている。
また、期成会の折に、直接、利用料金について話しているが、料金体系全体に影響が及ぶことから改正が行われていない現状である。
問 波佐見ICから佐世保中央ICまでは、通常料金560円、武雄南までは420円であるのに対し、佐世保中央ICから佐々ICまでは無料。不公平に感じることがあるか。
建設課長 現在のところ開設もないということ国が直轄的に行った事業というところで無料化されていると思う。松浦から佐々区間をつなぐまでは無料だと考



問 野球場建設については以前より質問されてきたが財政的問題で難色を示されてきた。
財政改革や大手企業の進出により財政面も幾分改善した中で、野球場建設に取り組み考えはないか。
教育次長 野球場建設については、スポーツの振興、特に子どもへの未来と夢を与えるため、理解し賛同するが、現段階においては有的な国・県等の補助制度も少ない。
現在の財政状況では町単独での建設は非常に厳しい現状にある。今後も引き続き実現に向け可能な限り努力をしたいと考える。

一般質問

◎5期目の町長就任
目指す将来像は



松尾 道代 議員

問 農業の振興は、
町長 売れる商品づくりへの対応や、技術力の向上と確保が必要であり、県と連携した新たな施策を検討したい。
問 産業の振興は、
町長 コスト低減を図るには、水田の基盤整備が最も重要な施策の1つである。現在、平成30年度からの事業採択に向け、駄野地区での協議を進めている。後継者育成は、国の就業支援制度を活用して5名が従事しており、さらに頼りしを進めていく。

問 5期目の町長就任にあたり、所信表明が行われたが目指すと思われる将来像が見えなかった。
具体的な施策はあるのか。
町長 これまで4期16年の任中、ある程度具現化してきたつもりである。今後はさらに継続・発展、そして完成させることであり、具体的成果は行政運営の中で示していく。

問 保健福祉の充実。
町長 健康づくりへの意識高揚を図り、活動を支援・推進するとともに、保健指導の充実を図る。
問 高齢者の福祉対策は。
町長 老人クラブの活動支援や、シルバー人材センターの運営支援、見守り支援等に取り組んでいる。
また、「元気高齢者による地域づくり協議会」を立ち上げており、趣味や特技を生かした交流活動拠点づくりの構築を目指している。
高齢者や身体が不自由な方々が生きがいを持って安心して生活できるよう、必要な施策を講じていきたい。

問 歴史・文化を大切に、感性のある町づくりとは。
町長 貴重な文化遺産の保存整備に努めるとともに、県指定文化財である皿山人形浄瑠璃や町指定の4淨立などの保存・伝承に支援していく。
また、文化財の保存と公開施設の整備についても検討を進めていきたい。

問 歴史・文化を大切に、感性のある町づくりとは。
町長 貴重な文化遺産の保存整備に努めるとともに、県指定文化財である皿山人形浄瑠璃や町指定の4淨立などの保存・伝承に支援していく。
また、文化財の保存と公開施設の整備についても検討を進めていきたい。



◎社会保障の充実は

中村 興弘 議員

問 今後、建て替えが進められる町営住宅は、新しく土地を求め、駐車場や公園を広く取り、立地条件の良いところを求めらるべきである。

町長 公営住宅は、波佐見町公営住宅条例等により、住宅に困窮するものを低廉な家賃で入居させるために設置している。

問 今のところ新たな建設計画はない。

町長 現在の町営住宅の玄関を勝手口として使い、出入り口を居間の方にして間仕切りをなくす。

そして、スロープを付け、障がいのある方が生活をしやすい介護を受けやすい住宅に改修してはどうか。

町長 当然のことながら、今後の建て替え計画については、福祉政策などと連携を取り、バリアフリー化など、障がい者や高齢者に配慮した住宅の整備を図っていく。

入居者については、町営住宅入居者選考委員会での選考になる。



建て替えが待たれる町営住宅

問 職員の海外研修への派遣の取り組みは、

町長 職員の研修実施は、長崎県町村会の研修センターなどが企画する階層別研修や、専門研修に参加するものがほとんどである。

本町の場合は、友好交流都市である大韓民国康津郡との交流事業や3年に1回、天正道欧少年使節交流事業で中学生のヨーロッパ派遣事業にも職員を参加させており、海外研修の一環と位置づけている。

広い視野を備えた職員の人材育成の必要性も理解するが、研修目的や期間、参加要件、費用の面で積極的の派遣する状況には至っていない。

町政を問う

◎QRコードを使って観光案内を ◎タブレットで会議や授業を

尾上 和孝 議員

問 観光ガイドのサポートとして、町の観光案内にQRコードを使い、パソコンやスマートフォンなどを活用して、文字や音声、できれば動画等で観光地の説明が

できないか。

町長 観光施設ことの動画サイトの作成については、今後検討したい。

問 公衆無線LANスポット、WiFiスポットの整備について、今後の計画はあるのか。

町長 今年度は、波佐見温泉街に設置する計画である。

また、次年度以降は、観光交流センターや中尾地区での整備を視野に入れ、環境を整えたい。

問 ペーパーレス化を進めるため、タブレットを使うため、タブレットを使っただけで会議ができませんか。

町長 タブレットを利用した会議については、無線LANによるインターネット接続の環境が整えば、比較的安価で整備が可能と思わ

れ、ペーパーレス化の効果も期待される。

また、重要な文書の保存やタブレット端末の盗難防止など、管理面もあわせて導入を検討する。

問 東小学校をモデル校として、児童にタブレット端末を配布し、授業に取り組みないか。

教育次長 政府は、平成31年度までにすべての児童や生徒に1台ずつの情報端末を整備していくとしている。

課題もあり、導入までには多少時間を要する。

※WiFi：ワイファイ、無線LANのブランド名。
WiFi Alliance という業界団体に与えられる名称。



所管事務調査報告

総務文教委員会

7月31日佐賀県多久市、8月1日福岡県八女市において行政調査を行った。

7月31日 佐賀県多久市

◆小中一貫教育の取り組みについて

△経緯▽

○多久市第7次行政改革大綱「少子化に伴い、学校の効率的な施設を図る上で検討が必要である」となされた。

○多久市立学校適正規模・適正配置検討委員会の設置委員数12名で、平成20年8月までに13回の会議が行われ、8月11日に最終答申がなされた。

・内容―児童生徒数の推移

（小中一貫校についての提案）

平成8年度2,874人が、18年度2,039人（約29%減）児童生徒数の減少により、編成が一部複式学級となったが、少人数での学級は様々な問題を抱えている。この傾向は今後も

強まることが予想される。現在の7小学校（うち分校1）を3校に統合し、同時に現3中学校とそれぞれ一貫校の提案がされた。

△現況▽

平成25年度にスタートしたが、職員室を一つにしたことで、教職員間の情報共有が生まれるなど、良い方向へ進んでいる。保護者などの評判も悪くないようで、現在のところデメリットは見受けられない。

△まとめ▽

多久市の事例は、本町も類似した教育環境であり、小中一貫校への移行も将来的な方向性として考えて頂きたい。

8月1日 福岡県八女市

◆岩戸山歴史交流館（仮称）建設について

△経緯▽

○八女市では地域の伝統や文化を大事に育て、次世代に継承す

べく事業を展開している。現在の「岩戸山歴史資料館」の老朽化、情報発信力の不足などにより、新資料館建設の要望が地域から寄せられている。

「基本構想検討委員会」を立ち上げ、目的などを明確化した。

△まとめ▽

当館の建設は本町にも参考となる事例であり、現在保管している、4,000点を超える貴重な収蔵品を、公開・展示する場所が必要であるとの声もあり、早急に検討・計画を立てて頂きたい。



現在、建設中の「岩戸山歴史交流館」

企業誘致雇用対策 特別委員会



8月29日

◆9月議会へ提案される「波佐見町企業立地促進条例」の一部改正について、担当職員の説明を受け調査した。

条例においては、特に慎重でなければならぬが、現在企業誘致は全国で進められており、難しい時期である。

この条例改正により、一刻でも早く誘致ができるよう望まれる。

産業厚生委員会

7月9日、平成26年度西ノ原土地
区画整理事業について担当者より説
明を受け調査を行った。

7月9日

◆西ノ原土地区画整理事業について

排水対策や建物移転補償費とし
て予算要求したが、震災の影響で
1億2,000万円に対し4,750万
円の内示となった。

次年度は、2億円を概算要求する。
△今後の見直し▽

西ノ原現状線の完成等と排水防止
対策を優先させる。

また、旧公会堂の利活用などで換
地変更などを計画している。

7月17日福岡県北九州市、8月18
山口県柳井市で行政調査を行った。

7月17日

◆北九州エコタウンセンターの 取り組みについて

△事業内容▽

北九州エコタウンは、限られた資
源を有効活用するため、センターが
拠点となり環境分野の「教育・基礎
研究」から「技術・実証研究」、「事
業化」等を行っている。研究開発機関
としては、リサイクル・リデュース・
リユースを研究している。

△まとめ▽

本町においても廃石膏の処理を研
究しているが、その再利用としては、
一定量の廃石膏が必要であり現状と
しては難しい。



中山開地<あいさいの里>

7月18日

◆「あいさいの里」の農業経営につ いて

△概要▽

山口県柳井市の北部、日積大里地
区にあり117世帯で5集落からな
る。

平成16年に設立し、25名で構成
しており、出資金338万円、組
織への借地代として10a当たり12,
000円で、その作業代として時給
720円から1,200円で運営され
ている。

◆中山開地を守る対策

経営方法としては、水稲(26ha)

は3人、大豆(19ha)・麦(15ha)
は委託事業とし、アスパラガス・玉
ねぎ・キャベツ(6ha)はパート
雇用の13人で対応している。収益性
の高い農産物を生産・販売し、徹底
したコストダウンを行っている。

◆将来に向けた地域活性化対策

経験豊かな高齢者と中堅や若者な
どを雇用し、コミュニケーションを
高め、将来の担い手が確保できるよ
う努力している。

また、都会へ家庭流出を食い止
めるため、子育て世代の主婦など雇
用しており、3Kとも言われた農業
も、小・中学生の自然を守る体験学
習を通して、地元の大規模工コ農業
をPRしている。

△まとめ▽

波佐見町の中山開地農業や6次産
業化も研究されているが、さらに地
域の協力が不可欠であり、農業の省
力化と生産・販売を確立する必要が
ある。

8月4日

◆集落営農組織の法人化の現状に ついて

法人化については、平成18年度か
ら5年以内の設立とされたが、進展
せず5年の延長となった。

本町にある7組織の中で7組織
が補助金を受けている。法人化で
きない場合、返還金が多いところで
500万円になる可能性がある。

△まとめ▽

集落営農組織の法人化は、残され
た時間のなかで、最大限の努力と町
としての事業運営など、充分な支援が必
要と考えられる。

11月から委員会構成が 変わりました

現議員の任期も半ばを過ぎ、新たに委員会改選が行われました。

この委員会で、所管事務を行っていきます。

総務文教常任委員会

- 委員長 古川 千秋
- 副委員長 今井 泰照
- 委員 百武 辰美
- 松尾 道代
- 大久保 進
- 中村 與弘
- 川田 保則

産業厚生常任委員会

- 委員長 藤川 法男
- 副委員長 石峰 実
- 委員 中尾 尊行
- 尾上 和孝
- 太田 一彦
- 松添 一道
- 松尾 幸光

議会運営委員会

- 委員長 大久保 進
- 副委員長 今井 泰照
- 委員 古川 千秋
- 藤川 法男
- 太田 一彦
- 松添 一道

議会広報調査特別委員会

- 委員長 尾上 和孝
- 副委員長 百武 辰美
- 委員 中尾 尊行
- 石峰 実
- 今井 泰照

企業誘致雇用対策特別委員会

- 委員長 松添 一道
- 副委員長 大久保 進
- 委員 尾上 和孝
- 藤川 法男
- 今井 泰照
- 太田 一彦

議員活動

- 8月3日 長崎県消防ポンプ操法大会(大村市)
- 4日 産業厚生委員会
- 12日 全員協議会
- 18日 長崎県町村議会議長会議長会議長会(佐世保市)
- 19日 長崎県町村議会議長会委員長研修会(川棚町)
- 東彼杵郡町村議会議長会正副議長委員長会(長崎市)
- 25日 長崎県後期高齢者医療広域連合議会(長崎市)
- 28日 はさみ寛祭り
- 29日 全員協議会
- 31日 波佐見中学校野球部全国大会優勝祝賀会
- 9月4日 総務文教委員会
- 5日 議会運営委員会
- 17日 波佐見町老人ゲートボール大会
- 24日 10月6日 第3回波佐見町議会定例会
- 16日 全員協議会
- 23日 鬼木園まつり
- 28日 長崎かほらん国体テニスボ行事グランプリ大会
- 29日 長崎県町村議会議長会議長会(長崎市)
- 30日 全員協議会
- 10月1日 議会運営委員会
- 4日 波佐見町長杯近接市町G・G大会
- 7日 波佐見町長杯争奪学童野球選手権大会
- 9日 波佐見町戦没者慰霊祭
- 12日 長崎かほらんばらばら国体開会式(長崎市)
- 16日 全員協議会
- 19日 波佐見町身体障害者福祉レクリエーション大会
- 20日 産業厚生委員会
- 22日 長崎かほらんばらばら国体閉会式(鎌早市)
- 23日 第4回波佐見町議会臨時会
- 24日 総務文教委員会
- 28日 長崎県戦没者追悼式(大村市)
- 30日 議会広報委員会

編集後記

昨年と打って変わり、多雨の夏が過ぎたと思っ
たら、あつという間に平成26年も残り少なくなりま
した。
ソチオリンピックに始まり、ワールドカップ、が
んばらばら国体大会とイベントも続き、話題に事
欠かない一年でした。
今回の議会広報は、町長選の関係から12月発行と
なっていました。

今回のお詫び申
し上げます。

来年初めが波佐見
町にとって飛躍
の年となり、こ
の議会広報でも
明るい記事が載
せられるよう願
うものです。

議長	川田 保則
副議長	古川 千秋
委員	藤川 法男
委員	尾上 和孝
委員	石峰 実
委員	中尾 尊行
委員	百武 辰美

- 11月1日 全員協議会
- 6日 総務文教委員会
- 8日 議会広報委員会
- 12日 町議会議長会(国大会)
- 13日 議会広報委員会
- 16日 波佐見町議会議長会正副議長及び事務局長研修会
- 20日 全員協議会
- 25日 東彼杵郡町村議会議長会議長会研修会
- 27日 西九州自動車道建設促進期成会発表活動

議会広報に関するご意見、ご感想をおまちしています。